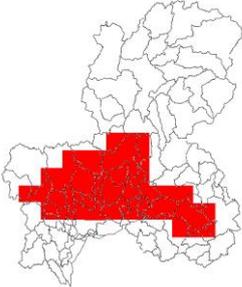


イヌチャセンシダ	<i>Asplenium tripteropus</i> Nakai	準絶滅危惧
		チャセンシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生活環境が人の生活領域に含まれる山林、岩場など不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村長昭義) 
形態の特徴	常緑性のシダ。チャセンシダによく似ているが、葉柄のほかに中軸の裏側にも1枚の翼がある。	
生態的特徴	山地の岩の割れ目や路傍の石垣に生育する。	
分布状況	本州(北陸を除く秋田県以西)から九州に分布する。岐阜県では県南中部と県南東部に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	生育地である岩場の崩落、山林開発、治山工事などによる生育地の消失。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成